

# くにたち 原爆・東京大空襲体験 伝承者講話

令和6年

3月10日(日)

開催

## くにたち郷土文化館

参加費無料  
事前申込制

昭和20年3月10日未明、東京の下町を襲った大規模な空襲「東京大空襲」。一夜にして10万人ともいわれる尊い命が失われました。この日を忘れることなく、平和について改めて考えるため、くにたち郷土文化館にて特別企画を実施します。

プログラム ※途中入場可

申込先は裏面下部をご参照ください



### くにたち 解説「資料にみる戦時下の国立」

くにたち郷土文化館 学芸員 安齋 順子氏

出征兵士に送られた日の丸の寄せ書き・慰問袋など寄贈された戦時下の資料や地図から当時の国立の様子を紹介します。

13時  
15分



くにたち  
原爆・東京大空襲体験伝承者講話  
【東京大空襲】

14時



くにたち  
原爆・東京大空襲体験伝承者講話  
【広島原爆】

15時

日時

3月10日(日) 13時(開場)



会場

くにたち郷土文化館 講堂

主催：国立市

# くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話とは？

伝承者の生の言葉で語り継ぐー市内在住の広島原爆・長崎原爆及び東京大空襲の体験者の体験や平和への思いを語り継ぎ、それを次世代に継承していくために、市から委嘱を受けた「くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者」が行う講話です。

※本伝承者講話は、**体験者本人ではなく、体験者の体験と思いを語り継ぐ「伝承者」による講話**です。

今回聴ける  
お話の内容



にへいはるよ  
**二瓶治代さん の体験**  
1936年（昭和11年）生

8歳のときに東京大空襲に遭い、亀戸で被災。家族とはぐれて炎の海の中を逃げまどい、折り重なる死体の下で一命を取り留める。奇跡的に家族と再会するも、前日まで遊んでいた多くの友人が死去。

今回聴ける  
お話の内容



ひらただみち  
**平田忠道さん の体験**  
1930年（昭和5年）生／2019年逝去

1945年4月、東京都麻布から父親が転勤していた広島へ、母親と妹、2人の弟とともに転居。そのわずか4か月後、中学3年生だった平田さんは、広島市北部にある可部町での勤労働員の作業中に被爆。



かつらしげゆき  
**桂茂之さん の体験**  
1930年（昭和5年）生／2017年逝去

当時、長崎中学校3年生だった桂さんは、学校で製造した部品を大八車に乗せて、同級生4人1組で三菱造船所に運ぶ途中、長崎駅付近で被爆。

## 関連イベント 戦争体験アーカイブ展 開催！

国立市をはじめ日野市、多摩市にゆかりのある方の戦争体験を記録したパネルを展示します。パネルは、当時の写真と体験文、朗読音声をあわせた『音声パネル』。ご本人の肉声で聴ける体験文の朗読をぜひお聴きください。



期間：3月1日(金)～10日(日)  
場所：くにたち郷土文化館 エントランス  
※申込・参加費不要



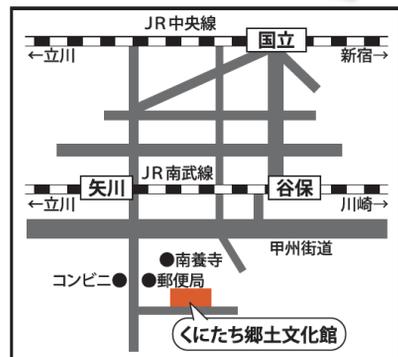
## くにたち郷土文化館

開館時間 9時～17時（入館は16時30分）  
観覧料 無料 ※企画展・特別展は別途設定あり

JR中央線 国立駅南口より 【バス】4番乗り場（立川バス）約10分  
「国立操車場」「国立泉団地」行き⇒「くにたち郷土文化館」下車後、徒歩約3分

JR南武線 矢川駅より【徒歩】徒歩10分  
駅改札を出て南口を降りて南へ進み、矢川駅入口交差点を直進、国立谷保郵便局を通過後、当館の案内看板のある曲がり角を左折、約150m先左手建物

車でお越しの方 【駐車場（無料）】一般：5台／優先：1台  
※いずれも予約不可。駐車場の数が限られていますのでご注意ください。



〒186-0011 国立市谷保6231  
TEL：042-576-0211

【申込・問い合わせ先】 国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係  
電話：042-576-2111（内線229・256）／ファクス：042-576-0264  
メール：sec\_diversity@city.kunitachi.lg.jp または、国立市公式サイト（QRコード）

詳細ページ

